

平成31年度 事務事業評価表

9801
特別会計

事務事業名	北部浄化センター施設運転事業			
事務事業担当	部名 都市施設部	課名 水質管理センター	担当名 北部管理係	責任者 早戸 正広

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	深呼吸したくなる空気や、きれいな水に囲まれて生活している		
根拠法令	名 称	都市計画法、下水道法、水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、P R T R 法 神奈川県生活環境の保全に関する条例、エネルギーの使用の合理化に関する法律等		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和63年度		事業終了（予定）年度 平成31年度	事業期間 32年

2. 事務事業の概要

対象	総事業費				(単位 : 千円)	
		30年度(決算額)	31年度(決算額)	2年度(予算額)		
市民	事業費	611, 151	528, 335	0		
	人件費	13, 506	13, 257	0		
	総事業費	624, 657	541, 592	0		
2年度事業費(予算額) 財源内訳						
	国支出金			0		
	県支出金			0		
	市債			0		
	その他			0		
	一般財源			0		
	合計			0		
3. 活動内容						
手段、手法【実施手法：直営・委託】	名称	処理水量			単位	m3
	内容説明	処理した下水の量				
	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	13, 298, 410	13, 361, 196	0	
成 果(効果・予測)		実績	12, 059, 668	12, 262, 207	---	---
		名称	放流水質 (SS, BOD, COD等) の測定実施			単位
		内容説明	放流水質 (SS, BOD, COD等) の年間測定回数			回
		指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度	
			予定	51	51	0
課 題			実績	52	51	---
	名称	流入下水, 初沈, 反応タンク終沈の水質測定実施			単位	
	内容説明	維持管理状況を確認するための水質測定回数			回	
	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	24	24	0	
				実績	24	24
	名称	包括的民間委託業務報告による契約基準の達成回数			単位	
	内容説明	契約基準の遵守を確認するため			回	
	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	51	51	0	
		実績	52	51	---	

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	II : 見直しのうえで継続	30年度	II : 見直しのうえで継続	31年度	III : 廃止または終了
	地方公営企業法適用により、令和2年度以降は名称は変更せず、別事業と統合し、新規事業として設置されます。 ※打ち切り決算のため、3月末までの支出済額を決算額とする。					

5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	29年度	30年度	31年度	
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	29年度	30年度	31年度	A : 十分に成果を上げている。
	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 包括的民間委託による運転管理業務が適切に行われているか監視・評価する手法を検討した上で実施します。 運転状況で判明した機器の不具合などについて、計画的な補修や更新整備に反映させる仕組みづくりを検討します。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	29年度	30年度	31年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 包括的民間委託による運転管理業務が適切に行われているか監視・評価し、放流水の法定基準を厳守するため、定期的に行う水質分析に最低限必要な事業費と人件費の水準です。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	31年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 下水を安定的且つ適正に処理することで、河川の水質が保たれ、下水道利用者の公衆衛生を保っています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	29年度	30年度	31年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り施設見学者を受け入れています。 処理場内の環境放射線量や放流水の放射性物質を測定し結果を公表しています。 周囲の景観を損なわない建物デザインとしています。 下水を適正に処理し、法定基準を遵守した処理水を河川へ放流しています。

平成31年度 事務事業評価表

9812

特別会計

事務事業名	中部浄化センター施設運転事業			
事務事業担当	部名 都市施設部	課名 水質管理センター	担当名 中部管理係	責任者 早戸 正広

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	深呼吸したくなる空気や、きれいな水に囲まれて生活している		
根拠法令	名 称	都市計画法、下水道法、水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、P R T R 法		
		神奈川県生活環境の保全等に関する条例、エネルギーの使用の合理化に関する法律等		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和44年度		事業終了(予定)年度 平成31年度	事業期間 51年

2. 事務事業の概要

対象	総事業費				(単位:千円)	
		30年度(決算額)	31年度(決算額)	2年度(予算額)		
市民	事業費	442,181	478,046	0		
	人件費	15,460	15,317	0		
	総事業費	457,641	493,363	0		
2年度事業費(予算額)財源内訳						
	国支出金			0		
	県支出金			0		
	市債			0		
	その他			0		
	一般財源			0		
	合計			0		
3. 活動内容						
手段、手法【実施手法:直営・委託】	名称	処理水量			単位	m3
	内容説明	処理した下水量				
	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	14,226,240	13,809,912	0	
成 果(効果・予測)	指標値	実績	13,044,110	13,416,790	---	---
		名称	放流水質(SS, BOD, COD等)の測定実施			単位
		内容説明	排水基準(SS, BOD, COD等)の年間測定回数			回
		30年度	31年度(当該年度)	2年度		
課 題	指標値	予定	52	52	0	
		実績	52	52	---	---
		名称	流入下水、初沈、反応タンク、終沈の水質測定実施			単位
		内容説明	維持管理状況を確認するための水質測定回数			回
活動指標1	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	24	24	0	
		実績	24	24	---	---
		名称	包括的民間委託業務報告による契約基準の達成回数			単位
活動指標2	指標値	内容説明	契約基準の遵守を確認するため			回
		30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	52	52	0	
		実績	52	52	---	---
活動指標3	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	24	24	0	
		実績	24	24	---	---
		名称	包括的民間委託業務報告による契約基準の達成回数			単位
活動指標4	指標値	内容説明	契約基準の遵守を確認するため			回
		30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	52	52	0	
		実績	52	52	---	---

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度 II : 見直しのうえで継続 30年度 II : 見直しのうえで継続 31年度 III : 廃止または終了
	地方公営企業法適用により令和2年度以降は名称を変更せず、別事業と統合し、新規事業として設置されます。 ※打ち切り決算のため、3月末までの支出済額を決算額とする。

5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	29年度	30年度	31年度	
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	29年度	30年度	31年度	A : 十分に成果を上げている。
	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 包括的民間委託による運転管理業務が適切に行われているか監視・評価する手法を検討した上で実施します。 運転状況で判明した機器の不具合などについて、計画的な補修や更新整備に反映させる仕組みづくりを検討します。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	29年度	30年度	31年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 包括的民間委託による運転管理業務が適切に行われているか監視・評価し、放流水の法定基準を厳守するため、定期的に行う水質分析に最低限必要な事業費と人件費の水準です。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	31年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 下水を安定的且つ適正に処理することで、河川の水質が保たれ、下水道利用者の公衆衛生を保っています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	29年度	30年度	31年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り施設見学者を受け入れています。 処理場内の環境放射線量や放流水の放射性物質を測定し結果を公表しています。 周囲の景観を損なわない建物デザインとしています。 下水を適正に処理し、法定基準を遵守した処理水を河川へ放流しています。

平成31年度 事務事業評価表

9470

一般会計

事務事業名	中部浄化センターし尿処理施設運転事業		
事務事業担当	部名 都市施設部	課名 水質管理センター	担当名 中部管理係 責任者 早戸 正広

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	深呼吸したくなる空気や、きれいな水に囲まれて生活している		
根拠法令	名 称	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和38年度		事業終了(予定)年度 平成31年度	事業期間 57年

2. 事務事業の概要

対象	総事業費	(単位:千円)		
市民(未水洗化区域内等)	事業費	30年度(決算額) 4,078	31年度(決算額) 4,527	2年度(予算額) 0
	人件費	654	612	0
	総事業費	4,732	5,139	0
2年度事業費(予算額)財源内訳				
国支出金				
県支出金				
市債				
その他				
一般財源				
合計				

3. 活動内容

活動指標1	名称	処理量			単位	m3
	内容説明	年間のし尿、浄化槽汚泥、雑排水の処理量				
活動指標2	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	6,275	5,651	0	
活動指標3	指標値	実績	6,014	5,940	---	---
		名称	包括的民間委託業務報告による契約基準の達成回数			単位
活動指標4	指標値	年間のし尿、浄化槽汚泥、雑排水の処理量			単位	回
		内容説明	契約基準の遵守を確認するため			
活動指標3	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	24	24	0	
活動指標4	指標値	実績	24	24	---	---
		名称				単位
活動指標3	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定				
活動指標4	指標値	実績			---	---
		名称				単位
活動指標3	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定				
活動指標4	指標値	実績			---	---

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度	II : 見直しのうえで継続	30年度	II : 見直しのうえで継続	31年度	III : 廃止または終了
	地方公営企業法適用により令和2年度以降は、中部浄化センター施設運転事業と統合し、新規事業として設置されます。					

平成31年度 事務事業評価表

9802

特別会計

事務事業名	北部浄化センター汚泥処理処分事業		
事務事業担当	部名 都市施設部	課名 水質管理センター	担当名 北部管理係 責任者 早戸 正広

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	深呼吸したくなる空気や、きれいな水に囲まれて生活している		
根拠法令	名 称	都市計画法、下水道法、水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、大気汚染防止法 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、P R T R 法、神奈川県生活環境の保全に関する条例等		
当該事業の法令等による義務付けの有無	有			
事務事業の期間	事業開始年度 平成元年度	事業終了(予定)年度 平成31年度	事業期間 31年	

2. 事務事業の概要

対象	総事業費				(単位:千円)	
		30年度(決算額)	31年度(決算額)	2年度(予算額)		
市民	事業費	91,876	145,845	0		
	人件費	9,941	9,700	0		
	総事業費	101,817	155,545	0		
2年度事業費(予算額)財源内訳						
	国支出金			0		
	県支出金			0		
	市債			0		
	その他			0		
	一般財源			0		
	合計			0		
3. 活動内容						
手段、手法【実施手法:直営・委託】	名称	下水汚泥の適正な処理・処分			単位	t
	内容説明	焼却処理した汚泥の量				
	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	20,942	21,452	0	
成 果(効果・予測)		実績	20,751	21,251	---	---
		名称	下水汚泥の適正な処理・処分			単位
		内容説明	脱水ケーキ量			t
		指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度	
			予定	9,853	10,130	0
課 題		実績	9,512	10,126	---	---
		名称	脱水ケーキ場外処分量(有効利用)			単位
		内容説明	産業廃棄物の適正な処理処分(産業廃棄物管理票制度の遵守)			t
		指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度	
			予定	1,000	900	0
		実績	799	1,212	---	---
		名称	焼却灰の適正な処分			単位
		内容説明	産業廃棄物の適正な処理処分(産業廃棄物管理票制度の遵守)			t
		指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度	
			予定	340	316	0
		実績	283	282	---	---

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度 II:見直しのうえで継続 30年度 II:見直しのうえで継続 31年度 III:廃止または終了
地方公営企業法適用により令和2年度以降は、北部浄化センター施設運転事業と統合し、新規事業として設置されます。 ※打ち切り決算のため、3月末までの支出済額を決算額とする。	

平成31年度 事務事業評価表

9803

特別会計

事務事業名	北部浄化センター維持管理事業		
事務事業担当	部名 都市施設部	課名 水質管理センター	担当名 北部管理係 責任者 早戸 正広

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	深呼吸したくなる空気や、きれいな水に囲まれて生活している		
根拠法令	名 称	都市計画法、下水道法、水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、大気汚染防止法 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、神奈川県生活環境の保全に関する条例等		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度 平成02年度		事業終了（予定）年度 平成31年度	事業期間 30年

2. 事務事業の概要

対象 市民	総事業費	(単位：千円)		
	事業費	30年度（決算額） 317,790	31年度（決算額） 163,634	2年度（予算額） 0
	人件費	19,396	19,121	0
	総事業費	337,186	182,755	0
目的 施設を適切に維持管理することで、河川の水質が保たれ、良好な生活環境を保持します。		2年度事業費（予算額）財源内訳		
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合計		0
3. 活動内容				
活動指標1 手段、手法【実施手法：直営】 ・各施設の機能が発揮できるように、予防保全による設備・機器の定期的なオーバーホールなど計画的に実施し、施設の機能維持を図ります。 ・突発的な故障時には、機能が低下しないことを前提に優先度を判断し、直営により、事後保全の補修を適宜対応します。 ・突発的で機能を大きく損なわない軽微な故障などについては、包括的民間委託内による計画外補修として対処します。	名称 機器の補修			単位 件
	内容説明 補修件数			
	指標値 予定	30年度	31年度（当該年度）	2年度
		実績	12	17
活動指標2 成果（効果・予測） ・施設の適切な維持管理により、良好な水質の確保や維持に繋がります。また、放流先の境川及び相模湾の水環境を改善し、公衆衛生の向上が図られます。	名称 予防保全補修率			単位 %
	内容説明 補修率=予防保全補修の実施件数/予防保全補修の予定件数			
	指標値 予定	30年度	31年度（当該年度）	2年度
		実績	100	100
活動指標3 課題 ・各施設の老朽化の進み具合を加味した計画的な予防保全による補修を行う必要があります。 ・また、老朽化によって多発する突発的な故障などの不具合に対し、施設が機能停止または低下しないよう、迅速な事後保全が必要です。	名称 事後保全補修率			単位 %
	内容説明 補修率=事後保全補修の実施件数/事後保全補修の想定件数			
	指標値 予定	30年度	31年度（当該年度）	2年度
		実績	100	100
活動指標4 方針等 29年度 II : 見直しのうえで継続 30年度 II : 見直しのうえで継続 31年度 III : 廃止または終了	名称 計画外補修件数			単位 件
	内容説明 包括的民間委託における130万円未満の計画外補修件数			
	指標値 予定	30年度	31年度（当該年度）	2年度
		実績	15	60

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度 II : 見直しのうえで継続 30年度 II : 見直しのうえで継続 31年度 III : 廃止または終了 地方公営企業法適用により令和2年度以降は北部浄化センター施設運転事業と統合し、新規事業として設置されます。 ※打ち切り決算のため、3月末までの支出済額を決算額とする。
--------	--

平成31年度 事務事業評価表

9813

特別会計

事務事業名	中部浄化センター汚泥処理処分事業			
事務事業担当	部名 都市施設部	課名 水質管理センター	担当名 中部管理係	責任者 早戸 正広

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	深呼吸したくなる空気や、きれいな水に囲まれて生活している		
根拠法令	名 称	都市計画法、下水道法、水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法		
		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、P R T R 法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例等		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和44年度		事業終了(予定)年度 平成31年度	事業期間 51年

2. 事務事業の概要

対象	総事業費				(単位:千円)	
		30年度(決算額)	31年度(決算額)	2年度(予算額)		
市民	事業費	29,503	28,101	0		
	人件費	10,543	10,384	0		
	総事業費	40,046	38,485	0		
2年度事業費(予算額)財源内訳						
	国支出金			0		
	県支出金			0		
	市債			0		
	その他			0		
	一般財源			0		
	合計			0		
3. 活動内容						
活動指標1	名称	運搬汚泥量		単位	t	
	内容説明	北部浄化センターに汚泥を運搬し、焼却処理等を行う。				
	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	11,089	11,322	0	
活動指標2	名称	下水汚泥の適正な処理・処分				
	内容説明	脱水ケーキ量				
	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	12,089	12,222	0	
活動指標3	名称	濃縮槽、脱水機の汚泥分析回数				
	内容説明	維持管理状況を確認するため				
	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	51	52	0	
活動指標4	名称			単位	回	
	内容説明					
	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定				
課題	名称			単位		
	内容説明					
	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定	51	52	0	
今後の方針等	名称			単位		
	内容説明					
	指標値	30年度	31年度(当該年度)	2年度		
		予定				
	実績				---	

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度 II : 見直しのうえで継続 30年度 II : 見直しのうえで継続 31年度 III : 廃止または終了
地方公営企業法適用により令和2年度以降は、中部浄化センター施設運転事業と統合し、新規事業として設置されます。 ※打ち切り決算のため、3月末までの支出済額を決算額とする。	

平成31年度 事務事業評価表

9814
特別会計

事務事業名	中部浄化センター維持管理事業			
事務事業担当	部名 都市施設部	課名 水質管理センター	担当名 中部管理係	責任者 早戸 正広

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	深呼吸したくなる空気や、きれいな水に囲まれて生活している		
根拠法令	名 称	都市計画法、下水道法、水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法		
		P R T R 法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例等		
当該事業の法令等による義務付けの有無	有			
事務事業の期間	事業開始年度 昭和44年度	事業終了(予定)年度 平成31年度	事業期間 51年	

2. 事務事業の概要

対象 市民	総事業費	(単位:千円)		
	事業費	30年度(決算額) 111,730	31年度(決算額) 52,921	2年度(予算額) 0
	人件費	15,271	15,024	0
	総事業費	127,001	67,945	0
2年度事業費(予算額)財源内訳				
	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			0
	合計			0
3. 活動内容				
手段、手法【実施手法:直営】 ・各施設の機能が発揮できるように、予防保全による設備・機器の定期的なオーバーホールなど計画的に実施し、施設の機能維持を図ります。 ・突発的な故障時には、機能が低下しないことを前提に優先度を判断し、直営により、事後保全の補修を適宜対応します。 ・突発的で機能を大きく損なわない軽微な故障などについては、包括的民間委託内による計画外補修として対処します。	活動指標1	名称 機器の補修	単位 件	
	内容説明 指標値	補修件数		
		30年度 予定 42	31年度(当該年度) 35	2年度 0
		実績 32	27	---
成果(効果・予測) ・施設の適切な維持管理により、良好な水質の確保や維持に繋がります。また、放流先の境川及び相模湾の水環境を改善し、公衆衛生の向上が図られます。	活動指標2	名称 予防保全補修率	単位 %	
	内容説明 指標値	補修率=予防保全補修の実施件数/予防保全補修の予定件数		
		30年度 予定 100	31年度(当該年度) 100	2年度 0
		実績 100	64	---
課題 ・各施設の老朽化の進み具合を加味した計画的な予防保全による補修を行う必要があります。 ・また、老朽化によって多発する突発的な故障などの不具合に対し、施設が機能停止または低下しないよう、迅速な事後保全が必要です。	活動指標3	名称 事後保全補修率	単位 %	
	内容説明 指標値	補修率=事後保全補修の実施件数/事後保全補修の想定件数		
		30年度 予定 100	31年度(当該年度) 100	2年度 0
		実績 68	86	---
今後の方針等 29年度 II:見直しのうえで継続 30年度 II:見直しのうえで継続 31年度 III:廃止または終了	活動指標4	名称 計画外補修件数	単位 件	
	内容説明 指標値	包括的民間委託における130万円未満の計画外補修件数		
		30年度 予定 13	31年度(当該年度) 9	2年度 0
		実績 9	6	---

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度 II:見直しのうえで継続 30年度 II:見直しのうえで継続 31年度 III:廃止または終了 地方公営企業法適用により令和2年度以降は、中部浄化センター施設運転事業と統合し、新規事業として設置されます。 ※打ち切り決算のため、3月末までの支出済額を決算額とする。
--------	---

平成31年度 事務事業評価表

38120

一般会計

事務事業名	中部浄化センターし尿処理施設維持管理事業		
事務事業担当	部名 都市施設部	課名 水質管理センター	担当名 中部管理係 責任者 早戸 正広

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	環境を守り育てる		
	めざす成果	深呼吸したくなる空気や、きれいな水に囲まれて生活している		
根拠法令	名 称	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和38年度		事業終了(予定)年度 平成31年度	事業期間 57年

2. 事務事業の概要

対象	総事業費 (単位:千円)			
	事業費	30年度(決算額) 966	31年度(決算額) 1,001	2年度(予算額) 0
市民(未水洗化区域内等)	人件費	445	400	0
目的	総事業費	1,411	1,401	0
公衆衛生と公共用水域の保全を図り、良好な生活環境を保持します。	2年度事業費(予算額)財源内訳			
手段、手法【実施手法:直営】	国支出金			0
・各施設の機能が発揮できるように、予防保全による設備・機器の定期的なオーバーホールなど計画的に実施し、施設の機能維持を図ります。	県支出金			0
・突発的な故障時には、機能が低下しないことを前提に優先度を判断し、直営により、事後保全の補修を適宜対応します。	市債			0
・突発的で機能を大きく損なわない軽微な故障などについては、包括的民間委託内による計画外補修として対処します。	その他			0
成 果(効果・予測)	一般財源			0
・し尿、浄化槽汚泥、雑排水を受け入れ、適正に処理することにより、未水洗化区域内等の公衆衛生が保たれます。	合計			0
課 題	3. 活動内容			
・各施設の老朽化の進み具合を加味した計画的な予防保全による補修を行う必要があります。	活動指標1	名称 機器の補修	単位 件	
・また、老朽化によって多発する突発的な故障などの不具合に対し、施設が機能停止または低下しないよう、迅速な事後保全が必要です。	内容説明	補修件数		
	指標値	30年度 予定	31年度(当該年度) 1	2年度 0
		実績	1	1
	活動指標2	名称 予防保全補修件数	単位 件	
	内容説明	予防保全にて補修した件数		
	指標値	30年度 予定	31年度(当該年度) 1	2年度 0
		実績	1	1
	活動指標3	名称	単位	
	内容説明			
	指標値	30年度 予定	31年度(当該年度) 1	2年度 0
		実績		---
	活動指標4	名称	単位	
	内容説明			
	指標値	30年度 予定	31年度(当該年度) 1	2年度 0
		実績		---

4. 今後の方針等

今後の方針等	29年度 II : 見直しのうえで継続	30年度 II : 見直しのうえで継続	31年度 III : 廃止または終了
	地方公営企業法適用により令和2年度以降は、中部浄化センター施設運転事業と統合し、新規事業として設置されます。 ※打ち切り決算のため、3月末までの支出済額を決算額とする。		